

研究機関：広島大学

研究課題名	脊椎アライメントと脊椎脊髄疾患の予後との相関の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外学 教授 堀江 信貴
研究期間	2019年8月23日(倫理委員会承認後)～2024年12月31日
対象者	2002年1月から2021年12月の間に、広島大学病院脳神経外科で脊椎脊髄疾患による治療を受けられた患者。
意義・目的	脊椎脊髄疾患の予後の予測において、脊椎アライメントの評価の重要性は報告されています。様々なパラメーターの有用性が報告されていますが、決定的なものがなく、症例の集積が必要とされ、特に長期にわたる縦断解析を行った検討が必要とされています。当科では長期にわたった症例の追跡を行っており、これらを用いて予後予測における重要な脊椎アライメントのパラメーターの検討を行う。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、画像所見です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外学 教授 栗栖 薫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5227 広島大学病院医系科学研究科脳神経外科学 クリニカルスタッフ 清水陽元